

令和6年度前期選抜試験

国語

注意

- 1 合図があるまでこの問題用紙は開かないこと。
- 2 解答用紙に受験番号、氏名を記入し、受験番号はマークもすること。
- 3 答えはすべて解答用紙にマークすること。
- 4 問いにあてはまる答えを^{せんたくし}選択肢より選び、該当する記号にマークすること。

例 問1にエ、問2にウ、問3にアと答えたいとき

問1	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input checked="" type="radio"/> エ
問2	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input checked="" type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ
問3	<input checked="" type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ

横芝敬愛高等学校

【1】 次の問いに答えなさい。

問1 「触らぬ神にたたりなし」と同じ意味のことわざを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 二兎を追う者は一兎をも得ず イ 頭隠して尻隠さず ウ 井の中の蛙大海を知らず エ 君子危うきに近寄らず

問2 「臨機応変」の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア その場その場の情勢や事態の変化に合った方法をとること
イ あとさき考えずに目的に向かって激しい勢いで突き進むこと
ウ 古いものが去り、新しいものがこれに代わって出てくること
エ 行きづまっていた事態が急に変わって一気に解決に向かうこと

問3 傍線部の動詞と同じ活用形のもを次の中から一つ選び、マークしなさい。

「仲間たちに背中を押されて一歩を踏み出す」

- ア 目的地に一番近いバス停でバスを降りた。 イ 大切な資料を母に捨てられてしまった。
ウ この専門書は中学生が読むには難しい。 エ 十時までに来れば試合開始に間に合います。

問4 宮沢賢治の作品を次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 『銀河鉄道の父』 イ 『蜘蛛の糸』 ウ 『走れメロス』 エ 『注文の多い料理店』

問5 「夏」の季語が入っている俳句を次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 赤い椿白い椿と落ちにけり
イ 青蛙おまえもペンキぬりたてか
ウ 赤蜻蛉飛ぶや平家のちりぢりに
エ 風花の今日をかなしと思ひけり

【2】 傍線部を漢字に直したとき、最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

問6 文化祭の準備がいよいよカ境を迎えた。

- ア 渦 イ 華 ウ 佳 エ 稼

問7 北東の方角をキ門という。

- ア 貴 イ 喜 ウ 鬼 エ 忌

問8 試合に勝つための作戦をチ密に練り上げる。

- ア 緻 イ 致 ウ 智 エ 遅

問9 今年の新入社員は若いのにハ気がない。

- ア 破 イ 覇 ウ 波 エ 端

問10 ハン用性のある商品は、人気が出るため売れゆきがよい。

- ア 頒 イ 煩 ウ 汎 エ 班

【3】 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

「朝よ、おはよう」

母親がそう言って、赤ちゃんを抱き上げるシーンを想像してほしい。

アサという発音体感には、爽やかな開放感がある。オハヨウは、実際には「オッハヨオ」と、①語で、弾むような開放感をもっている。したがって、「朝よ、おはよう」と声をかけた母親は、無意識のうちに自分の発音体感によって、爽やかな、弾むような開放感を味わっているのだ。

さて、注目すべきは、赤ちゃんの脳である。赤ちゃんには、目の前の人間の口腔周囲※1の動きを自らのそのように感じとる能力がある。このため、母親が無意識に感じている、爽やかな、弾むような開放感に赤ちゃんは②して、一緒に味わっているのである。

アサ、オハヨウということばは、これとともにある情景、すなわち、透明な朝の光や、肌に触れる爽やかな空気や、抱き上げてくれた母親の弾むような気分とともに、脳のなかに感性情報としてインプットされていくのである。

③長じて、「英語で、朝のことをmorningといいます。おはようは、Good morningです」と習ったときには、なるほどと思うだけだ。こうして、人生の最初に出会ったことばと、後に習った外国語では、脳内できごとばに関連づけられた感性情報の量が圧倒的に違う。

だから、日本人の私たちは、仕事仲間に「おはよう」と声をかけられれば、④ぱっと目が覚めるのである。※2累々と重ねてきた朝の記憶が呼び起こされ、いやおうなく始まりの気持ちにさせられる。これが「Good morning」では気持ちの真心に届かず、いま一步、※3ボルテージが上がらない。ただ、語感だけで言っても、「Good morning」は「おはよう」に比べると、暗く物憂げなのは事実だ。⑤英語圏の人たちの朝は、日本人の朝より、少し静かに始まるようである。考えてみれば、このことばを生んだ英国は日本よりずっと緯度が高いので、日本のように、年中、朝の光が眩まぶしいわけではない。冬などは子どもたちの登校時間になってもまだ暗い。

実は、ことばは、このように風土とも無関係じゃないのである。眩しい朝を迎えることの多い日本人は、朝にアサAsaということばを与えた。喉も口も開けるAに、舌の上に息をすべらせて口元に風を作るSの組み合わせ。まさに爽やかな開放感のことばである。オハヨウも、ハの開放感が目立つ、弾むような挨拶語である。

※4黎明の中や、穏やかな陽光の中で一日を始める緯度の高い英国に住む人たちは、くぐもった発音の「Good morning」で挨拶をしあう。いたわりあいつつ、徐々に活動を開始するイメージだ。

もちろん、「Good morning」はその組成から、語感ではなく、意味から創生されたことばであることは明確である。⑥長きにわたって英

国人が、このことばを朝の挨拶語に使ってきたことには深い意味がある。英国の人々は無意識に、「Good morning」の、^{※5}鼻腔に響く、くぐもった優しさが英国の朝に似合うと判断したのであろう。

意識は語感を選び、また、語感は意識を作る。何代にもわたって使ううちに「Good morning」で挨拶を交わしあう人たちの朝は、「オハヨウ」と挨拶する人たちの朝より、ゆっくり始動する。優しいものになっていく。そうすると、ますます、朝の情景と「Good morning」の発音体感が似合ってくるのである。

「朝」と「Morning」「おはよう」と「Good morning」。どちらも、それぞれの国の朝に似合うことばであり、それぞれの人たちが心地よいと感じながら発音している。^⑦どちらがよいかは、一概にいうことはできない。

しかし、鮮烈な朝日で迎える日本の朝には、日本語のアサ、オハヨウがよく似合う。日本に生まれ、日本の朝日のなかで「アサヨ、オハヨウ」と言われて抱き上げられる赤ちゃんの脳には、素直に、ことばと情景の感性リンクが成立する。

もちろん、英国の薄暗い朝に、穏やかな低音で、「Good morning」と言われて抱き上げられる赤ちゃんの脳にも、素直に、言葉と情景の感性リンクが成立する。

こうして、その国の風土と人々の意識とによって、長く培われてきたことばが、母国語である。

黒川伊保子『日本語はなぜ美しいのか』

※1 口腔 … 口から喉までの空洞部分 … ※2 累々と … 積み重なっている様子 … ※3 ボルテージ … 熱気

※4 黎明 … 夜明け … ※5 鼻腔 … 鼻の内部

問11 ① に入るのに最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 二拍目のハを中心にして発音される
- イ 先頭のオを極力発音しないようにする
- ウ 最終音のオを伸ばすように発音する
- エ 一つ一つの音をはっきりと発音しない

問12 ② に入るのに最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 錯覚
- イ 配慮
- ウ 即応
- エ 共鳴

問13 傍線部③「長じて」のこの文中での意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 年齢を経て イ 長生きして ウ 出世して エ 背が伸びて

問14 傍線部④「ぱっと目が覚める」に使われている表現技法として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 擬音語 イ 擬態語 ウ リフレイン エ 隠ゆ

問15 傍線部⑤「英語圏の人たちの朝」の内容としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 日本人の朝より、少し静かに始まる
イ 季節によっては薄暗い
ウ 穏やかな陽光の中一日が始まる
エ 朝の光がまぶしく、さわやか

問16 ⑥に入るのに最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア また イ さて ウ だから エ しかし

問17 傍線部⑦について、筆者の考えと最も近いものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 日本人が英語を使い慣れればそのうちに意識にも合い、母国語に成り得る可能性を秘めている。
イ 「オハヨウ」でも「Good morning」でも、赤ちゃんにとってはどちらも大差のないものである。
ウ 「母国語」は、その国の風土や人々の意識と結びついて長い時間の中で育まれてきたものである。
エ 言葉の優劣は使う人がいかに心地よく使えるかによって変わるため、国によって立場が変わる。

問18 次の会話の中で、本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア Aさん 「日本人には、『Good morning』では朝が来たという感じがしなくて暗く憂うつな気持ちになるよね。」
イ B君 「『朝よ、おはよう』という言葉の発音に爽やかさや開放感があるという意見には同意できるな。」
ウ C君 「『Good morning』という言葉にだって弾むような発音体感があって、僕は好きだな。」
エ Dさん 「結局、言葉の発音は緯度に左右されているだけなら、あまり気にしなくても良さそうだね。」

【4】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

自分のことを、花と呼ぶのはやめなさい。

給食に嫌いなものが出て、残さず食べなさい。

友達は無理に作らなくてもいい。たくさん作るうなんて思うな。一人でもいたらおんのじ。

小学校に上がるときに、ママと約束した。

おんのじ、っていうのは、呪文かなにかかと思ってたけど、「御の字」、つまり ① を意味するんだってわかるようになった頃、新しいルールができた。

チョココロネは食べてはいけない。ただし、給食は例外。

四年生の冬。梅の蕾が、ふくらみ始めた頃だった。

それはあたしたちの暮らしが変わった時でもあって、あたしは塾に通い出し、ママはフルタイムで働き出し、六畳一間のアパートでの二人暮らしが始まった。

塾の新学期は学校よりも早くて、四年生の授業が始まるのは、三年生の二月。中学受験を意識する小学生の多くが、そこから入試に向けて、プリントと競争心とストレスを積み上げ始める。あたしは一年遅れでスタートを切った。

なにかが欲しかったら、なにかを諦める必要があると言って、ママはあたしにチョココロネ禁止令を出した。例外と言われた給食にチョココロネが出ることはなかった。(ア)

食育っていうほど熱心じゃないけど、うちのママは食べるものにはうるさい。手作り給食の評判で小学校の学区を選んだというし、買い物もこだわりのお店でしかない。(イ)

正直、ママはあたしの中学受験にあまり乗り気じゃないらしい。それよりも、生きる力をつける訓練の方が大切だって言う。その教育方針のもと、見る目を養う訓練だからと、塾弁は自分で調達するように申し渡された。スジヨウのはっきりした食べ物を選びなさい、と言われていた。辞書で「素性」という言葉が、生まれ育ってきた境遇という意味だと知って、^②あたしは理解した。つまり、米はお米屋さん、肉はお肉屋さん、パンはパン屋さんで買えばいいってこと。(ウ)

チョココロネに別れを告げたあの頃、六年生の冬なんてずっと遠い未来に思えたのに、いつの間にかあたしはもう、その場所に立ってる。^③
この冬はクリスマスもお正月も、浮かれた空気なんて、どこにもなかった。

元旦から正月特訓もあったし、やってくる新しい季節より、入試までのカウントダウンに意識が向く。それはあたしだけじゃなく、塾でも、クラスの半分以上が受験する学校の中でも同じ。一月を迎えた空気が、頬も肌もびりびりと刺すように思えるのは、寒さのせいだけじゃない。テストの得点や、流行し始めたインフルエンザとか胃腸炎の知らせに、神経を鉛筆の先みたいに尖らせてる。みんなの緊張が空気を震わせて、^④気持ちもささくれ立たせていく気がする。^⑤

こういう時こそ、いつもどおりに過ごすのがいい、とママは言う。

なんでもない毎日の積み重ねが大事。平常心が大事。緊張すると体は硬くなっていくから、それをゆるめてくれる「お守り」を持つことが大事。あたしの「お守り」はたくさんある。

ひとつは、大好きなミユキちゃんが作ってくれたフェルトのマスコット、しゃらくん。

それから、商店街のお気に入りの塾弁候補たち。(エ)

商店街にはおいしいものがたくさんある。お肉屋さんではおいしいコロッケが食べられるし、お豆腐屋さんの豆乳プリンもいい。お米屋さんではおにぎりやおいなりさんも売ってる。中でも、あたしの一番のお気に入りには、コテンのパンだ。

駅へ続くうらら商店街の真ん中にある、コテンというお店のパンは、給食のパンと顔つきが似てるけど、味は比べ物にならないほどおいしい。昔からあるお店らしい。ガラスの大きな窓の向こうには、いつでもパンがたくさん並んでる。小さい頃に読んでもらった絵本で、カラスの親子が作ってたような、やさしい感じのパンだ。^⑥

冬森 灯『縁結びカツサンド』

問19 次の一文が入る場所として最も適当なものを文中のA～Eの中から一つ選び、マークしなさい。

そうしてあたしは、うらら商店街のお馴染みさんに仲間入りした。

問20

① に入る語句として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 十分満足できること、とか、ありがたいこと
イ 惚^ほれてること、とか、異性を好きになること
ウ ないほうがいいこと、とか、いてはならないこと
エ 尊敬すること、とか、丁寧に接するということ

問21 傍線部②「あたしは理解した」とあるが、何を理解したのか。最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア うらら商店街に行けば何でも調達することができるということ
- イ 専門店で作った信頼できるものを食べるのがよいということ
- ウ 母親がほんとうは中学受験にあまり乗り気ではないということ
- エ 中学受験と食育には切っても切れない関係があるということ

問22 傍線部③「その場所」について説明したものととして最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 大好きなチョココロネに別れを告げた四年生の二月
- イ ママと二人暮らしを始めた六畳一間のアパート
- ウ 入試までのカウントダウンに意識が向く一月
- エ お気に入りの塾弁候補たちがあるうらら商店街

問23 傍線部④「ぴりぴり」と同じ種類のものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 合格発表の日、自分の番号を見つけるまではほんとうにどきどきした。
- イ 大きく深呼吸をしてから、面接室のドアをこんこんと二回ノックした。
- ウ 電車の中で隣に座って本を読んでいた幼い男の子がくすくす笑いだした。
- エ 運動会の日は台風が近づいていたため、朝から雨がざあざあ降っていた。

問24 傍線部⑤「気持ちもささくれ立たせていく気がする」について説明したものととして最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア インフルエンザや胃腸炎が流行し始めることに対していつも以上におびえている。
- イ 他の子たちより一年遅れで受験の準備を始めたことに対して悲観的になっている。
- ウ 一月の空気の寒さのせいで体が縮こまり、自分の感情を上手に表現できずにいる。
- エ 中学受験を目の前にひかえて、テストの得点に気持ちが荒れていらしている。

問25 傍線部⑥「やさしい感じのパン」とはどのようなパンか。最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア チョコの入っているととてもやわらかいパン
- イ 昔食べたような気がする懐かしい味のパン
- ウ 今まで一度も味わったことがないようなパン
- エ 安心して食べられる食べ慣れた給食のパン

問28 傍線部③「あやし」の理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 大切な馬が居なくなって生活が大変なはずなのに、北叟が見舞客の心配ばかりしているから
- イ 生活の手段としていた大切な馬が居なくなったのに、北叟の子は全く心配していない様子だから
- ウ 大切な馬が居なくなったことを心配して見舞いに来た自分たちに対して、北叟が無関心だから
- エ 生活の手段としていた大切な馬が居なくなったのに、北叟は全く気にしていない様子だから

問29 傍線部④「具して」の本文中の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 持って
- イ 連れて
- ウ 助けて
- エ 出て

問30 空欄⑤に入る、最も適当な言葉を次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 「喜ばず」
- イ 「ありがたし」
- ウ 「悔いず」
- エ 「かなし」

問31 傍線部⑥「片手は折れたれども、命は全かりけり」の現代語訳として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 北叟の子を落馬させて片手を折ったが、その馬は軍馬として戦場に送られ、命を落とした。
- イ 北叟の子を落馬させて片手を折ったため、その馬は戦争には使われず、命を失わずに済んだ。
- ウ 北叟の子は落馬して片手が折れたけれども、そのために戦争に行かず、命は失わずに済んだ。
- エ 北叟の子は落馬して片手が折れたけれども、戦争に行き、命の限り戦って死んでしまった。

問32 傍線部⑦「かしこきためしに言ひ伝へたり」とあるが、この話から「塞翁が馬」という故事成語ができた。この故事成語の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、マークしなさい。

- ア 手段を誤ると目的を達成できないということ、また見当違いな望みを持つこと
- イ 危険を冒さなければ、大きな利益や成果を手に入れることはできないということ
- ウ 他人から見ればありふれた当たり前のことを、独りよがりで自慢すること
- エ その人にとって何が幸いになり、何が不幸になるかは予測しがたいということ

※ 問題はこれで終わりです。